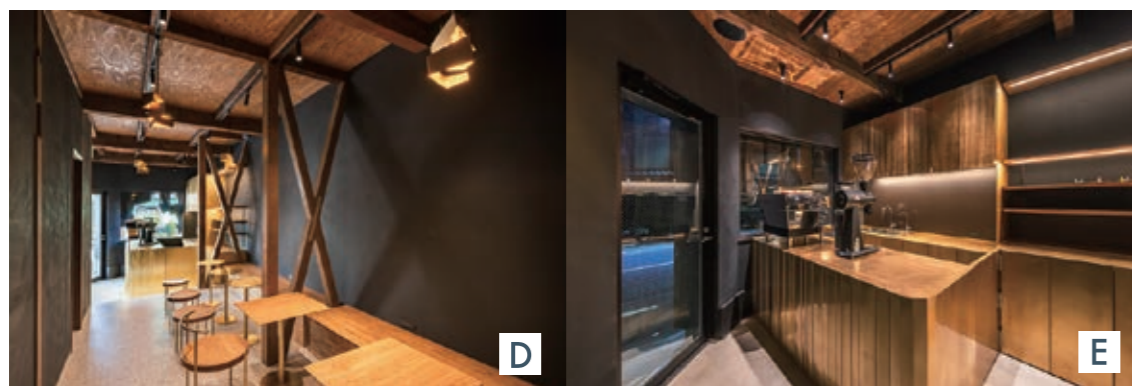
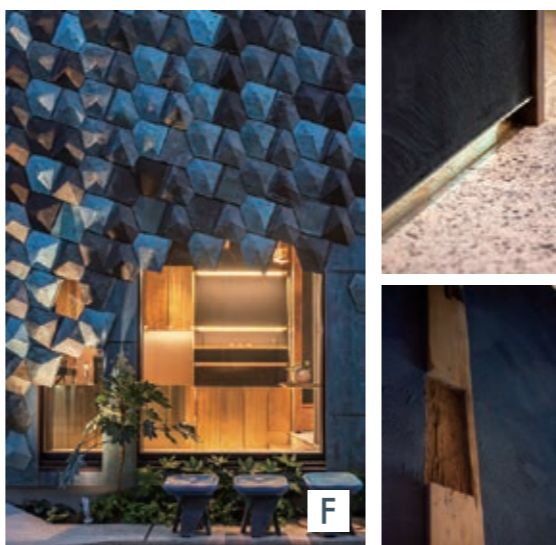


タイトル	和國商店 ～地域工務店・板金職人・世界的建築家のコラボで建物、街再生へ～		
設計	岡庭建設(株)一級建築士事務所+ 隈研吾建築都市設計事務所	施工	岡庭建設(株)
構造	在来木造		

講評
建築家の隈研吾氏によるデザインで話題になったリフォーム。特徴的な外観だけでなく、違法性を担保しながら性能向上が図られている。デザインをフックに地域活性化と技術継承の拠点とする計画は、空き家活用の好事例と言えるだろう。

コンバージョン前後の写真



コンバージョンの動機／設計・施工の工夫点／施主の満足度／利用者等の評価

【動機】施主様は地域を拠点に板金業を営む職人。地域活性や建設職人不足・技術継承等の問題解決の為、地元商店街の空き家となっていた木造築53年のたばこ屋だった店舗兼住宅を拠点にし、その歴史を活かす為、建替ではなくリノベーション「=再生」を選択。店内には、各社員大工・社員板金職人の技術を散りばめ、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所を設けたいと考えた。

【工夫点】デザイン監修は世界的建築家 隈研吾氏が手がけ、商店街に活気を取り戻すことを願い、新たな街のランドマークになるような象徴的なものに。外壁には、神社で使われていた緑青銅板を699枚再活用した。また、内装にはカウ

ンターや収納照明・巾木にまで真鍮を用い、職人技術を活かした。躯体の性能を担保し安全性を確保した上で残した柱や梁は「歴史」という他には変え難い価値を持ち、まさに「眠っていた宝」。その佇まいはリノベーションだからこそ活かされた味わい深いものになった。また、増築部撤去等、良質な住宅ストックとする為の工夫も施した。【満足度】カフェオープン後は、珈琲を振る舞い、唯一無二の空間体験を提供。板金折り鶴のワークショップを定期開催し、板金という素材の面白さを知ってもらう機会を設け、賑わいのある店に。これにより、職人技術を世界に発信する事、空き家利活用と地域活力再生にふさわしい場となった。

建物として確保した性能	特に配慮した事項	lw値、ls値
温熱性能/耐久性能/防音・遮音性能	各性能が目標値に達するよう現況調査から計画検討等入念に行った。築53年経年劣化とされる箇所、雨漏れによる腐朽箇所を修復することから始まり、特に耐震性能においては基礎計画から上部構造において緻密に補強計画を立て、既存構造を最大に活かしながら補強工事をした。	リフォーム前 0.01 リフォーム後 1.21

所在地	東京都東村山市	新築竣工年	1971年	築後年数	53年	施工期間	150日間
該当工事床面積	52.68㎡	総工事床面積	52.68㎡	該当部分工事費	3,300万円	総工事費	3,300万円

コンバージョン後の用途： 店舗・飲食店

コンバージョン前の平面図



コンバージョン後の平面図

